

(別紙1)

事業報告書

事業名	福島を知る写真展および講演会開催事業
申請分野	団体指定寄附・分野指定寄附（子ども分野）
目的	<p>※事業がどのように対象者・利用者の利便性の向上や支援につながったかなど、事業の目的を記載してください。</p> <p>福島のことを他人事と思わない人たちの輪を香川の中に広げて福島の子どもたちの応援団を増やし、息長い被災地支援の機運を醸成するとともに、県民の防災意識の向上を図ることを目的とする。</p>
事業実施の地域及び対象者	<p>※実施する事業内容の対象地域、対象者数について記載してください。</p> <p>香川県内の幅広い年代の人たち</p>
具体的な事業内容	<p>豊田直巳写真展:「叫びと囁き…原発震災の記録と記憶」 日時:2024年2月23日(休・金)~25日(日) 会場:瓦町 FLAG8 階アートステーション ギャラリー(西面)</p> <p>豊田直巳スライドトーク: 「福島13年…消される風景と消えない放射能の記録写真」 日時:2024年2月23日(休・金) 14:00~16:00 会場:瓦町 FLAG8 階 高松市市民活動センター会議室 (例年3月に開催してきたが、3月初旬にはギャラリーが予約できなかったため、3連休になる上記の時期に開催した)</p> <p>写真展参加者は3日間で210名、 スライドトーク参加者はオンライン参加2名を含め50名。 広報チラシ10,000部を作成し、支援者・支援団体に郵送するとともに県内各所に配布した。講演会はオンライン参加も可能なハイブリッド形式で開催した。</p>
事業実施の果効	<p>写真展では、「報道では伝えられない現地の状況を知ることができた」「何年たっても解決しない原発事故の恐ろしさがよくわかった」「風化させないことが大切だ」などの感想が寄せられた。また、能登半島地震の被災地の状況と重ね合わせて「他人事ではないと思った」という声も多かった。</p> <p>スライドトークは、現場に足を運び続けている豊田さんだからこそ語れる除染の現実や「復興」の裏側などを伝えるもので、参加者に問いかけながらいっしょに考えていこうとするものだった。参加者からは、「知らなかった福島の『今』を知ることができた」「子どもたちにも聞いてほしいお話だった。学校でも講演してほしい」などの感想が寄せられた。</p> <p>スライドトークのことが掲載された新聞記事を見て家族そろって写真展会場を訪れ、熱心に説明を聴いてくださったご家族もおられたのが印象的だった。また、写真展会場で当法人への入会をしてくださった方もおられた。</p> <p>写真展とスライドトークを通して被災地の現実を知り、自分事として考える場を提供することができた。</p>

(別紙2)

事業実施のスケジュール

年 月	活動内容	対象者	参加者数
2023年 6月～7月	写真展の実施内容について検討		
8月	テーマを決定。写真の準備、講師依頼等について具体的な内容を打ち合わせ	当団体 ボランティア	8人
10月	ギャラリー、講演会場を予約	当団体 事業担当者	2人
12月	広報チラシを作成	当団体 ボランティア	2人
2024年 1月	広報チラシの郵送・配布などの広報活動	当団体 ボランティア	10人
2月	プレスリリース		
	写真パネルキャプションや会場掲示物等の作成作業	当団体 ボランティア	のべ32人
	写真展運営	一般県民	260人
3月	事業の振り返り	当団体 ボランティア	8人

(注1)いつ、どこで、何を、どのように、どのような体制で実施したかなどを、詳細に記載してください。

(注2)企画、準備、成果確認や実施後の振り返りなども含めて記載してください。

(注3)対象者や参加者数など事業の規模等が分かるように記載してください。

(別紙3)

収 支 精 算 書

【収入】

(単位：円)

項 目	金額	説 明
NPO基金補助金額	★ 109,000	分野指定寄附 100,000、団体指定寄附 9,000
自己資金計	143,718	①+②+③+④
① 参加料収入	0	
② 会費等	143,718	当会会計より
③ 寄附金等	0	今回は能登半島被災地支援募金として被災地に送金
④ その他		※内容を具体的に記載してください。
その他助成金等収入計		①+②+③
① 補助金収入		
② 委託金収入		
③ その他		※内容を具体的に記載してください。
その他資金収入		
合 計	252,718	

(注) その他助成金等収入はNPO基金以外の助成金等を受ける予定がある場合に記載してください。

【支出】

項 目	金額	うちNPO基金 補助金充当額	説 明 (使途、積算根拠等)
使用料	38,970		ギャラリー、クリエイティブルーム 18,720 円、市民活動センター会議室 6,050 円、机使用料 1,200 円、スポットライト使用料 13,000 円
印刷製本費	20,570		チラシ等印刷 19,910 円、写真展ポスター用大判印刷等 660 円
通信運搬費	51,365	分野指定 30,000	チラシ 510 通郵送料 39,536 円、チラシ多部数郵送料 3,229 円、写真パネル着払送料 8,600 円
旅費	82,290	分野指定 49,000	講師旅費 34,490 円、講師宿泊費 18,600 円 写真展ボランティアスタッフ交通費及び駐車料金 29,200 円
講師謝金	50,000	団体指定 30,000 9,000 分野指定 21,000	
消耗品費	9,523		チラシ送付用封筒、ラベルシール 5,510 円、写真展示用品 4,013 円
合 計	252,718	★ 109,000	